

※ご使用前にこの説明書を良くお読みになり十分に理解してください。
Before use, please carefully read the explanations!

スピードコントローラー（ハングオンレーサー用）

KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

取扱説明書 No. GPW17



警告

この説明を守らないと生命や身体に重大な被害が発生する可能性がある危険を示します

- 本体を分解、改造をしないこと。
- 純正コネクタを切り落としたりしないこと。
- 受信機、サーボ、バッテリー等の接続コネクタは奥まで確実に挿入する。
走行中に車体の振動でコネクタが抜けると暴走の危険性があります。

- 水や海水、薬品につけたり、濡らさないこと。
- 純正のモーター、バッテリー以外は使用しないこと。
- 使用時以外はバッテリーを外しておくこと。
- ショートや逆接続に十分注意すること。

特徴

- コントローラー本体は防水防塵仕様
- キャパシター内臓の小型サイズ
- オートマッチセットアップ機能により初期設定を自動化
- 各保護回路付（NiMH/LiPo低電圧カット、ヒートプロテクト、スロットル信号遮断プロテクト）
- ジャンパーピンにより低電圧カット電圧を変更（NiMH/LiPo）
- ハングオンレーサーに最適な前進/ブレーキ仕様（後進は無）

スペック

連続/最大電流：25A/100A
入力：2～3セル（LiPo）又は 5～9セル（NiMH/Nicd）
抵抗：0.003Ω
BEC出力：1A/5V
サイズ：34x24x14mm
重量：21g

接続

- ・ヒートシンク付近の4本の赤色と黒色のワイヤーで、内側から出ている大きいコネクタが付いた方をバッテリーに接続します。
- ・同じく4本の赤色と黒色のワイヤーで、外側から出ている小さいコネクタが付いた方をモーターに接続します。
- ・スイッチと同じところから出ている黒赤白のワイヤーは受信機に接続します。（黒=マイナス、赤=プラス、白=信号）

セットアップ

①送信機の設定

スロットルチャンネルの”D/R”、”EPA”、”ATL”を100%に設定してください。（状態が不明な場合は初期値に戻す。）

その後スロットルチャンネルのトリムをゼロ（ニュートラル）にしてください。

フタバ製の送信機の場合はスロットルチャンネルをリバースに設定してください。（モーターが逆回転する場合は他のモデルでもスロットルチャンネルをリバースに設定しなければいけない場合があります。）

フェイルセーフ機能が付いている場合はこの機能を使用する事を推奨します。フェイルセーフが働いた状態でモーターが回転しないように設定してください。

②スロットルの調整

各社の送信機に合わせた設定を行う為に全てを接続した状態で送信機のスイッチを入れ、（送信機のスロットルはニュートラル状態を維持してください。）スピードコントローラーが信号を感知するまで約3秒間待ちます。自動的にスロットルの調整がされます。スピードコントローラーが使用可能になった時にスピードコントローラーから長いピープ音が鳴ります。

ピープ音とLEDの説明

<ピープ音>

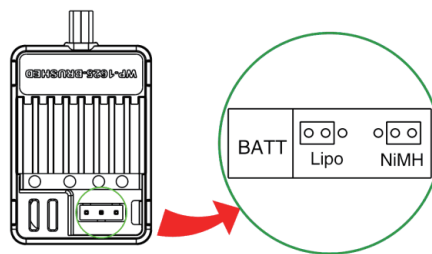
- ・短く1回：バッテリーがニッケル水素（NiMH）又はニカド（Nicd）
- ・短く2回：バッテリーがLiPoの2セル（7.4V）
- ・短く3回：バッテリーがLiPoの3セル（11.1V）
- ・長く1回：設定完了、使用可能。

<LEDの状態>

- ・送信機のスロットルがニュートラルの場合は赤いLEDが消灯
- ・前進、ブレーキ時に赤いLEDが点滅
- ・前進、ブレーキ時のフルスロットルで赤いLEDが点灯

使用バッテリーの設定

このスピードコントローラーはジャンパーピンの位置でLiPoとNiMH（Nicdも含む）に合わせたカット電圧に変更可能です。下記の図を参考にジャンパーピンを差し替えてください。



保護機能

- 低電圧カットオフ：バッテリーの電圧が2秒間基準値より低くなるとスピードコントローラーは停止します。（赤いLEDが点滅）
 - ・2セルLiPo・・・バッテリーの電圧が6.5Vを下回ると出力を50%に調整し、さらに6.0Vを下回ると出力をカットします。
 - ・3セルLiPo・・・バッテリーの電圧が9.75Vを下回ると出力を50%に調整し、さらに9.0Vを下回ると出力をカットします。
 - ・5～9セルNiMH・・・バッテリーの電圧が4.5Vを下回ると出力を50%に調整し、さらに4.0Vを下回ると出力をカットします。
- ヒートプロテクト：工場で設定された温度よりスピードコントローラーの温度が5秒間高くなるとスピードコントローラーは出力をカットし停止します。停止するとヒートプロテクトが働いていることを示すため、赤いLEDが点滅します。スピードコントローラーの温度が80℃以下になると回復し使用可能になります。
- スロットル信号遮断プロテクト：スピードコントローラーは0.1秒間信号が遮断された場合に出力をカットします。

＜トラブルシューティング＞

症状	原因	対処
スイッチを入れてもモーターが回転せず、ピープ音が鳴らない。LEDも消灯。	スピードコントローラーに電源が供給されていない。バッテリーやコネクターの不良。	ケーブルの断線やコネクターの不良を確認し交換する。
	スイッチの不良。	スイッチを交換する。
スイッチを入れてもモーターが回転しない。赤いLEDが点灯。	スロットルの信号がスピードコントローラーに届いていない。	スピードコントローラーから受信機へ接続しているケーブルが正しく接続されているか確認する。
	スロットルチャンネルの調整の失敗。	スロットルチャンネルのトリムをゼロにするか、スロットルレバーをニュートラルにする。
スロットルを前進に操作してもバックする。	スロットルチャンネルの方向が正しく設定されていない。	スロットルチャンネルの初期設定をノーマルからリバースに変更、又はリバースからノーマルへ変更する。
モーターは回転しないが、LEDは正しく動作している。	スピードコントローラーとモーターの接続不良。	コネクターの接続やケーブルの断線を確認し、破損していれば交換する。
	モーターの破損	モーターを交換する。
走行中にモーターが突然停止。	スロットルの信号の遮断。	送信機と受信機が正常に動作しているか確認する。スピードコントローラーのRXケーブルの接続を確認。
	低電圧カットオフ機能又はヒートプロテクトが作動している。	充電されたバッテリーに交換する。スピードコントローラーを放置し冷却する。
トップスピードにならない。赤いLEDがフルスロットルで点灯しない。	送信機の設定が間違っている。	送信機の設定を確認する。D/R、EPA、ATLを100%に設定、又はスロットルレバーのストローク量を最大にする。
急加速させた時にモーターの回転が息継ぎをしたようになる。	バッテリーの放電能力不足。	放電出力の高いバッテリーへ交換する。
	モーターの出力が高すぎる。ギヤ比が高すぎる。	低い回転数で出力の低いモーターへ変更するか、歯数の少ないピニオンギヤへ変更する。
	駆動系の異常	駆動系がスムーズに動くかを確認し、抵抗が多いようであればメンテナンスする。